

授業科目 レクリエーション基礎論

【担当教員名】 佐近 慎平		対象学年	1	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○		
【概要・一般目標：G10】 レジャー・レクリエーションの史的展開を踏まえ、レジャー・レクリエーションの概念と社会における役割を学ぶ。					
【学習目標】 1. レジャー・レクリエーションの歴史背景の概要を説明できる。 2. QOLにおけるレジャー・レクリエーションの役割を説明できる。 3. 現代社会の課題へのレジャー・レクリエーションの役割を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	レジャー・レクリエーションとは何か			1, 2, 3	講義
2	レジャーとレクリエーションの国際比較			1	講義
3	レジャーとレクリエーションの動向			1	講義
4	遊びと文化、スポーツと文化			1	講義
5	社会運動とレジャー・レクリエーション1 欧米			1	講義
6	社会運動とレジャー・レクリエーション2 日本			1	講義
7	ライフステージとレジャー・レクリエーション1 乳幼児			2, 3	講義
8	ライフステージとレジャー・レクリエーション2 児童			2, 3	講義
9	ライフステージとレジャー・レクリエーション3 青年			2, 3	講義
10	ライフステージとレジャー・レクリエーション4 家族			2, 3	講義
11	ライフステージとレジャー・レクリエーション5 高齢者			2, 3	講義
12	社会福祉とレジャー・レクリエーション			2, 3	講義
13	社会福祉とレジャー・レクリエーション			2, 3	講義
14	地域とレジャー・レクリエーション			2, 3	講義
15	まとめ			1, 2, 3	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		レクリエーション支援の基礎：楽し さ・心地よさを活かす理論と技術	日本レクリエーション 協会編	財団法人日本レクリ エーション協会	2008・2,000円＋税
その他の資料		講義に先立ち適宜配布			
【評価方法】 受講態度・レポート・試験			【履修上の留意点】		